

産業連関表からみた群馬県の経済構造

群馬経済研究所研究員 稲田純也

調査のポイント

産業連関表は「経済循環の見取り図」ともいわれる統計表であり、地域の経済構造の分析や経済波及効果の推計に用いられる。本調査では、産業連関表の概要と見方について説明したうえで、群馬県産業連関表を用いて本県の経済構造の分析を行う。

要約

- 産業連関表とは、ある地域（国や都道府県など）で一定期間（通常 1 年間）に行われた、産業間や産業・消費者間などの経済取引を行列形式で一覧表にまとめたものである。
- 産業連関表の見方について、タテ（列）方向にみると、各産業部門が「どの部門から、どれだけ買ったか」がわかり、ヨコ（行）方向にみると、各産業部門が「どの部門へ、どれだけ売ったか」がわかる。
- 群馬県産業連関表を用いて本県の経済構造を分析すると、本県は製造業に特化しており、その競争力も高く、「ものづくり県」であることが改めてわかる。
- 群馬県産業連関表「経済波及効果分析ツール」を用いると、簡単に経済波及効果を推計することができる。同分析ツールを通じて、経済波及効果の推計方法について大まかに説明した。
- 以上の通り、産業連関表は、地域の経済構造の分析、経済波及効果の推計において有用なツールである。